

平成26年度 第1回 燕・弥彦地域公共交通会議 会議録（概要版）

日時：平成26年6月24日（火）午後2時～3時

場所：燕市役所 3階 301会議室

出席者（敬称略）

委員 会長 燕市長 鈴木 力
副会長 弥彦村長 大谷 良孝
国土交通省 新潟運輸支局 主席運輸企画専門官 高橋 義孝
新潟県 燕警察署 署長 石口 英治
新潟県 西蒲警察署 交通課管理係長 長谷川 輝
新潟県 三条地域振興局 企画振興部長 杉山 興
東日本旅客鉄道株式会社 燕三条駅 駅長 時田 康弘
独立行政法人労働者健康福祉機構 燕労災病院 事務局長 高江 裕洋
新潟県立吉田病院 事務長 藤田 桂輔
住民代表 （分水地区）若林 與一
（燕地区）竹井 満喜子
（吉田地区）中村 カオル
（弥彦村）坂井 洋一郎
（弥彦村）阿部 徳子
新潟交通観光バス株式会社 常務取締役 田巻 耕介
越後交通株式会社 三条営業所 所長 安達 誓
越佐観光バス株式会社 専務取締役 佐藤 洋彰（代理）
株式会社燕タクシー 代表取締役 竹内 邦彦
燕市企画財政部副主幹 杉本 俊哉（代理）、燕市商工観光部長 赤坂 一夫
燕市都市整備部長 五十嵐 一夫、燕市健康福祉部長 小林 恵美子
燕市教育委員会教育次長 金子 彰夫、弥彦村総務課長 福田 正智
弥彦村産業振興課長 小林 栄一、弥彦村建設企業課長 小林 芳春
弥彦村住民福祉課長 樋浦 久夫、弥彦村教育委員会課長補佐 三富 浩子
（計28名）

欠席： 公益社団法人新潟県バス協会 専務理事 高橋 清吉
連合県央地域協議会 事務局長 佐藤 春男
（計2名）

事務局：（燕市）

市民生活部長 田野 正法、生活環境課長 保倉 茂
生活環境課長補佐 宇佐美 文浩、交通政策係長 亀山 修
交通政策係主事 菊地 貴之

（弥彦村）

総務課 企画調整係長 坂爪 明博
総務課 交通防犯係主査 石川 秀雄

（KCS）

社会政策グループ上級技師 永野 裕一、副主任技師 福井 裕明

報道機関：越後ジャーナル

傍聴者：1名

次第：

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

- (1) 燕市デマンド交通及び循環バスの利用状況について〔資料1〕
- (2) 平成25年度燕市地域公共交通会議決算報告について〔資料2〕
- (3) 平成26年度燕・弥彦地域公共交通会議補正予算（案）について〔資料3〕
- (4) 弥彦村地域公共交通調査事業について〔資料4〕
- (5) 平成27年度生活交通ネットワーク計画（案）について〔資料5〕
- (6) その他

4. 閉 会

《会議資料》

- 資料1 燕市循環バス「スワロー号」・燕市デマンド交通「おでかけきららん号」の利用状況
- 資料2 平成25年度 燕市地域公共交通会議歳入歳出決算
- 資料3 平成26年度 燕・弥彦地域公共交通会議歳入歳出補正予算（案）
- 資料4 弥彦村地域公共交通調査事業について
 - 資料4-1 燕・弥彦 生活交通ネットワーク イメージ図
 - 資料4-2 燕・弥彦地域定住自立圏構想について
 - 資料4-3 弥彦村地域公共交通運行改善基礎調査業務
～住民等に対する地域公共交通に関するアンケート調査（案）～
- 資料5 生活交通ネットワーク計画（案）
 - 資料5-1 燕・弥彦地域公共交通等に関する国の補助制度について

1. 開会

【事務局】

皆様、本日はお忙しいところご出席を賜りましてありがとうございます。定刻前ではございますが、皆様お集まりになりましたので、これより平成 26 年度第 1 回燕・弥彦地域公共交通会議を開催させていただきます。

私は事務局を務めます生活環境課の保倉でございます。よろしくお願い申し上げます。

2. 会長あいさつ

【事務局】

開会に当たりまして、この会議の会長であります、燕市長がごあいさつを申し上げます。

【会長】

皆様、本日はご多忙のところ第 1 回目の地域公共交通会議にご出席くださりまして深く感謝申し上げます。

前回の会議では燕市と弥彦村が定住自立圏構想に共同で取り組むための一環として公共交通がその柱になるため、この会議の委員を増やすことを申しあげ、御承認をいただきました。今回は新体制になって初めての会議です。新しい委員の皆様におかれましては、どうぞよろしくお願いいたします。今日の議題は、定住自立圏という枠組みで燕市と弥彦村はこれまで斎場、ごみの処理等で共同に取り組む事業を行ってきましたが、いよいよ交通関係についても連携していくというものです。少子高齢化社会において、公共交通問題は非常に重要な課題でございますので、この定住自立圏構想を契機にお互いの住民の方々がより便利で使いやすい仕組みができることを願っております。今後ともこの会議を通じて、実りある意見交換ができればとお願い申しあげまして、私からの冒頭に当たっての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。続きまして、今年から副会長になられた大谷弥彦村長よりごあいさつをいただきたいと思います。

【副会長】

弥彦村長の皆様でございます。燕・弥彦地域交通会議で新たに弥彦村をお仲間に入れていただいたことにつきまして深く感謝申し上げます。弥彦村では以前から循環バスで県立吉田病院など、拠点となる施設に行くことができないかというお話が出ておりました。今、鈴木市長からもお話があった定住自立圏構想の中で、この計画が実現できるといったお話をいただき、ぜひ燕市と一緒にこの問題に取り組んでいきたいと思っています。私たちはこの定住自立圏構想によって、弥彦村の住民がより便利に生活できることを願っています。

今後、事業を展開していくにあたっては、燕市、弥彦村がともに手を携えて準備をしていきますので、ご指導ご協力を頂きたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

【事務局】

ありがとうございました。それでは次に資料の確認をお願いいたします。

本日の「次第」「委員名簿」「配席図」「燕・弥彦地域公共交通会議設置要綱」、資料1から資料5まででございます。そして最後に、デマンド交通「おでかけきららん号」のチラシと循環バス「スワロー号」の時刻表をご用意させていただいております。不足している資料がございませんでしょうか。

なお、本来であれば、事前に資料を配付するべきところではありますが、都合により当日配付となりましたことをご詫言申し上げます。

次に、燕市地域公共交通会議から、燕・弥彦地域公共交通会議に変わり、第1回目の会議に当たりまして新規委員になられた方が9名、移動等により委員の入れ替わりが4名いらっしゃいますので、新たな委員として本日ご出席をいただきました皆様をご紹介させていただきます。委員名簿をご覧ください。順にご紹介をさせていただきますので、大変恐縮ですが自席にてご起立をお願いします。

まず、先ほど挨拶をいただきました名簿の2番、弥彦村長の**大谷 良孝**様です。次に、名簿の5番、西蒲警察署長の**伊嶋 正**様の代理の交通課管理係長の**長谷川 輝**様です。次に、名簿の8番、燕労災病院事務局長の**高江 裕洋**様です。次に、名簿の9番、県立吉田病院事務長の**藤田 桂輔**様です。次に、名簿の13番、弥彦村住民代表の**坂井洋一郎**様です。次に、名簿の14番、弥彦村住民代表の**阿部 徳子**様です。次に、名簿の15番、公益社団法人新潟県バス協会 専務理事の **高橋 清吉**様ですが本日欠席となっております。次に、名簿の26番、弥彦村総務課長の**福田 正智**様です。次に、名簿の27番、弥彦村産業振興課長の**小林 栄一**様です。次に、名簿の28番、弥彦村建設企業課長の**小林 芳春**様です。次に、名簿の29番、弥彦村住民福祉課長の**樋浦 久夫**様です。次に、名簿の30番、弥彦村教育員会教育課長の**若井 優**様の代理の教育課長補佐の**三富 浩子**様です。

続きまして燕市の人事異動に伴う委員の交代であります、23番、燕市都市整備部の**五十嵐**部長です。同じく25番、燕市教育員会の**金子**次長です。また、本日は、15番公益社団法人新潟県バス協会の高橋様、16番の日本労働組合総連合会新潟県連合会の**佐藤**様が欠席となっております。このほか、21番の**五十嵐**企画財政部長ですが、**杉本**企画財政課副主幹が本日代理主席となっております。また、19番の**越佐**観光バス代表取締役**佐藤洋一**様に代わり、専務取締役の**佐藤洋彰**様からご出席をいただいておりますのでご報告申し上げます。

これにより、委員30名のうち代理出席を含め過半数の28名の委員からご出席いただいておりますので、「燕・弥彦地域公共交通会議設置要綱」第10条第2項の規定に基づき、本日の会議が成立していることをご報告申し上げます。

3. 議 事

【事務局】

では、これより議事に入りますが、本日の終了時間は、午後 3 時頃を予定しております。スムーズな進行にご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、議事進行につきましては、設置要綱に基づき会長からお願いいたします。

(1) 燕市デマンド交通及び循環バスの利用状況について

【会長】

それでは、私の方で会議を進行いたします。議題の「(1) 燕市デマンド交通及び循環バスの利用状況」について、事務局説明を願います。

【事務局】

《資料 1 に基づき説明》

【会長】

事務局の説明が終わりました。このことにつきましてご意見、質疑等ありましたら挙手にて発言願います。

何かございませんでしょうか。特にないようですので、「燕市デマンド交通及び循環バスの利用状況」については以上で終了します。

(2) 平成 25 年度燕市地域公共交通会議決算報告について

【会長】

次に、議題の「(2) 平成 25 年度燕市地域公共交通会議決算報告」について、事務局説明願います。

【事務局】

《資料 2 に基づき説明》

【会長】

事務局の説明が終わりました。引き続き、関連がありますので、会計監査報告をお願いいたします。監査員を代表して、県立吉田病院事務長の藤田様、よろしくお願いいたします。

【藤田事務長】

《資料 2 会計監査報告書に基づき報告》

【会長】

ありがとうございました。ただ今の平成 25 年度決算報告並びに監査報告についてご意見、質疑等がありましたら挙手にて発言願います。なお、会議録作成の都合上、発言の際はご自分の氏名を述べてからご発言くださるようご協力をお願いします。いかがでしょうか。

なにかありませんか。ないようですので、「平成 25 年度燕市地域公共交通会議決算報告」についてご異議ありませんか。

(異議なしの声)

異議なしと認めます。よって「平成 25 年度決算報告」については承認されました。

(3) 平成 26 年度燕・弥彦地域公共交通会議補正予算(案)について

【会長】

次に、議題の「(3) 平成 26 年度燕・弥彦地域公共交通会議歳入歳出補正予算(案)」について、事務局説明願います。

【事務局】

《資料 3 に基づき説明》

【会長】

事務局の説明が終わりました。このことについてご意見、質疑等がありましたら挙手にて発言願います。なにかありませんか。ないようですので「平成 26 年度 燕・弥彦地域公共交通会議歳入歳出補正予算(案)」についてご異議ありませんか。

(異議なしの声)

異議なしと認めます。よって「平成 26 年度燕・弥彦地域公共交通会議歳入歳出補正予算」については、原案のとおり承認されました。

(4) 弥彦村地域公共交通調査事業について

【会長】

それでは、議題「(4) 弥彦村地域公共交通調査事業」について、事務局説明を願います。

【事務局・KCS】

《資料 4 に基づき説明》

【会長】

事務局の説明が終わりました。このことについてご意見、質疑等がありましたら挙手にて発言願います。いかがでしょうか。

【弥彦村住民福祉課長 樋浦委員】

資料1の13ページで利用者の年代別割合を見ますと、高齢者の利用が圧倒的に多いことが分かります。今回のアンケート調査は20代以上の方を対象にするということですが、利用の多い方々の意見がとても重要であると思います。そのため、アンケートは無作為抽出ということでしたが、意見の偏りというような統計上の問題はでないのでしょうか。あるいは、20代の方よりも高齢者の方々の意見に重点を置く、というような対策をするのでしょうか。

【KCS】

現段階では、対象者は無作為抽出を考えていて、年代については考えていませんでした。しかし、今回のアンケートは公共交通を利用する交通弱者の方々の意見を優先すべきであると思いますので、アンケートの結果にもよりますが、実際に回収した集計の結果によって検討したいと思います。

【会長】

他に何かございますか。

【坂井委員】

コストの面で考えると公共交通の改善というのはとてもすばらしいことだと思います。今、弥彦村では車を購入するのに車庫証明を取る必要がありません。そのため他の所よりも車を買いたため、他の地域よりも車社会になっているように思います。そのため、今は自家用車を利用していますが、今後法律の改正等によって車庫証明が必要になった時に車を使用しなくなる人が多くなり、代わりに公共交通を使う人が多くなるのではないかと思います。そのような点からも、公共交通が役立つのではないかともしました。

【主席運輸企画専門官 高橋副会長】

今、車庫証明のお話がありましたので補足します。私は直接の担当ではないため、詳しいことは言えないのですが、坂井さんがおっしゃったように、村については全国的に車庫証明が不要なところが多いです。しかし、車庫証明を取る必要がなくても車の保管場所が必要であるため、一概にそのために他の地域よりも車社会になっているとは言い難いように思います。今後、車庫証明を取る必要ができたために公共交通を利用する人よりも、高齢者の方々が年齢によって運転に不安を覚え車に乗らなくなり、その代わりとして公共交通を利用する人が増えるのではないかと思います。また、現在県内でも公共交通、タクシー等の利用券と引き換えに免許証の返還を促している市があることから、高齢者の方々の利用が増えるのではないかと思います。

【会長】

今回の会議の目的というのは、高齢者の方々が車を使用して移動することが困難になっていくなかで、それをカバーするために公共交通を利用してもらうというものです。公共交通には、たとえば県立吉田病院などの主要な拠点にバスを通すというもの、一方その拠点から離れた町の個人医、診療所などはバスを通すことが難しいところでは、おでかけきららん号のようなデマンド交通といったものがあります。これから、燕市で行っている公共交通事業を弥彦村にも拡大する計画を立てています。そのための基礎調査として、資料4-3のようなアンケートを行い、みなさんがどのような場所に行くのか調べ、どんなニーズがあるかを把握したうえで、弥彦村で新しい公共交通の仕組みを作っていくことを考えていきます。詳しい内容に関しては、これから事務局で検討していくことになると思います。他に何かございませんか。

【越後交通(株)三条営業所 安達委員】

資料4-3のアンケートについてですが、○×形式のものが簡単でよいのではないかと思います。同資料の6ページ問13のように理由を書いてもらうようなところであっても、ある程度回答を推測して、○×形式で答えるほうが、住民の方はアンケートしやすいのではないかと思います。また、そのようにした方が数値を出しやすいため、わかりやすい資料になるのではないかと思います。

【KCS】

現段階ではその部分では自由回答というようにしていますが、今後弥彦村、燕市と協議し、最終的には極力選択肢形式にできるよう考えています。

【会長】

それでは今出た意見を合わせて、答えやすく、資料として活かしやすいデータを収集できるようなアンケートになるように、アイデアを詰めていただくようお願いします。

(5) 平成27年度生活交通ネットワーク計画(案)について

【会長】

それでは、本日最後の議題になります、議題「(5) 平成27年度生活交通ネットワーク計画(案)」について、事務局説明を願います。

【事務局】

《資料5に基づき説明》

【会長】

事務局の説明が終わりました。このことについてご意見、質疑等がありましたら挙手にて発言願います。なにかありませんか。ないようですので「平成 27 年度 生活交通ネットワーク計画（案）」についてご異議ありませんか。

（異議なしの声）

異議なしと認めます。よって「平成 27 年度生活交通ネットワーク計画（案）」については、原案のとおり承認されましたので、後日、国土交通大臣あてに計画の認定について申請することといたします。

（6）その他

【会長】

最後に、議題「（6）その他」であります。せっかくの機会ですので、委員の皆様から何かございませんか。

【竹井委員】

今日、市役所へ来るのにもきらん号を使わせてもらいました。利用者のお話を聞くと、お医者さんに通うのに利用する人が多く、大変喜んでいられる方が多いです。最近ではお医者さんが終わる時間に帰りの便を合わせるのではなく、原信などのスーパーで買物をしてから帰るのに間に合うように時間を合わせて予約をする、というように市民の方々もきらん号をうまく使えるようになったと思います。

【会長】

他に何かございませんか。

【中村委員】

友人がきらん号を使って聞くことなのですが、12月の増便以来予約が取れない、というようなことが少なくなって、いつも乗れるのでとてもありがたいと言っていました。

また、予約センターのオペレーターさんがとても丁寧に対応してくれてとてもいいとも言っていました。ただ、ちょっと急いでいるときでも丁寧に説明してくれることがあるため、気が揉めるときがあるというお話も聞きました。そのような際は、もうちょっと簡単な対応でもいいというように言っていました。電話では相手の顔が見えないのでなかなか分かりにくいとは思いますが、もし相手が少し急いでいるようだと気づいた際は、一言で簡単な対応でもいいのではないかと思います。

【会長】

ありがとうございます。予約センターのオペレーターの方々には非常に丁寧な対応をし

ていただいているという評価を頂いたと伝えて、モチベーションを上げさせていただきます。他に何かございませんか。それでは、その他案件も特にないようですので、事務局からの連絡です。

【事務局】

大変スムーズな議事進行ありがとうございました。皆様のご協力によりまして、予定していた時刻より少し早く終わることができました。この公共交通会議におきましては、今年度 4 回行う予定です。また会議を開催する際にはご連絡をいたしますのでご協力をお願いいたします。

これもちまして、本日の会議を閉会させていただきます。本日は大変お疲れさまでした。

以上